



農 委 だ よ り  
**常 総**

平成28年8月1日発行  
**第 21 号**

〒303-8501  
 茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3  
 電話0297-23-2111(代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



洪水災害を受けた農地(大生地区)



洪水災害を受けた農地をボランティアの皆さんがゴミ拾いを実施(本石下地区)

**水害を乗り越え田植え(五箇地区)**

大規模な浸水被害を受けた農地も、無事に田植えが行われました。

倉倉増稲鈴和山横渡田橋中内斉沼石飯渡喜菊門田山菊小岡  
 野  
 持金田葉木田井島邊村本島海藤尻塚田辺山地井崎木地磯野  
 創一 元将 喜文政匡武 浩洋隆寛真勝 まち 松正義重孝  
 一廣亮一之勇仁雄一史夫清之郎志一美一明子貢男男男治一

農業委員  
 (議席順)

暑中お見舞い  
 申し上げます

### 地域の担い手

豊田地区 荒川 豊さん



我が家は、水稲・麦を生産する專業農家です。平成12年に会社勤めを辞めて家業の農業を継ぎ、今は妻と長男、次男夫婦の五人で営農しています。

昨年は、鬼怒川の堤防が一部決壊したことにより大規模な水害が発生し、水稲の被害に遭いました。水が引いた後は、水田や畑のごみの片付けに途方に暮れる毎日でした。

また、それに加え風評被害のせいも、苦勞して収穫した自家販売している米の価格が低迷してしまいました。

今年は何年通りに田植えができてひと安心しましたが、災害もなく順調に作物が育ち、顧客が戻ってきてくれることを願っています。

私は今までに、水田に直接種もみを蒔く湛水直播や、株

間を広く植える疎植栽培などの水稲栽培も実施しています。が、これからは、畑状態の本田に直接種もみを蒔く乾田直播などの取入れや、畦畔ブロックを外し圃場を集約化して作業効率を上げるなど、農業環境を良くして行く予定です。

豊田地区では、担い手が集まり豊田アグリエイトを構成し、意見交換や情報交換などを図る懇談会等を通じてお互いに協力し、切磋琢磨しながら農業経営の充実を目指しております。

これからは、地域に貢献できるような農業を目指して、より一層努力していきたいと思っております。

### 紹介農業委員



松員 崎 男 田 崎 委

豊田地区の荒川豊さんを紹介します。

荒川さんは、親子で、稲作、麦を栽培している專業農家です。また、豊田用水組合の会計としても頑張っています。

### 消費者として思うこと

篠山地区 横山 恒雄さん



我が家では、懇意にしている近所の方から採れたての野菜をよくいただくことがあります。採れたての野菜は新鮮

でおいしく、安心して食べることができそうです。野菜好きなのは、近所のスーパーへ行くたびに地元の野菜をもっと販売する地産・地消の取り組みができれば良いのではないかと思っています。

消費者は、①安心・安全、②新鮮、③値段などの基準で野菜類を購入しますが、これらの条件を満たすのが地元の野菜の販売です。

一方、生産者も地元野菜の供給先を確保する取り組みをしてほしいと思います。地元スーパーの他に、地域の保育園や学校、老人福祉施

設への食材提供などをしてみてはどうでしょうか。

安心した供給先を確保することは、生産者の収入増に繋がりが、地産・地消は、消費者と生産者の利益が一致するだけではなく、地域外へ流出していた資金が地域内に還流し、地域経済にもプラス効果を生むと思います。

生産者の高齢化、後継者不足、外国の農産物輸入など、農業を取り巻く環境が厳しさを増している今こそ、生産者、販売業者、老人施設管理者、行政が知恵を出し合い、協働して更なる地産・地消の取り組みをするよう消費者として強く期待します。

### 紹介農業委員



渡 邊 委 政 員 一

横山さんは、7人家族で、プランターでトマト等を育て、お孫さんたちと一緒に収穫することを楽しみにしていました。

### 五箇小学校の生徒が田植え

毎年恒例の田植えの課外授業が行われました。

五月のゴールデンウィーク後半の木曜日、曇り空で肌寒い天気でしたが、水を張った田んぼに足を踏み入れた子どもたちは、泥の感触に目を輝かせながら、元気いっぱい田植えを楽しんでいました。

五箇地区の橋本農業委員も笠をかぶった格好で、今は懐かしい田植えのスタイルを伝えていました。



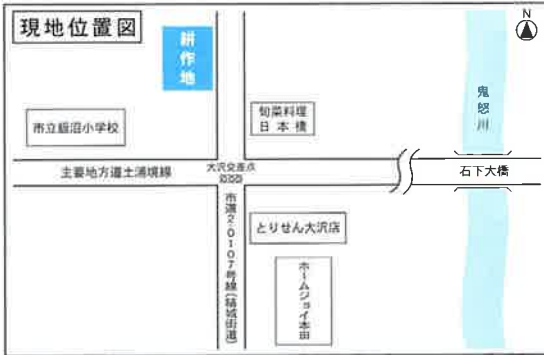


重機による開墾作業

担い手の高齢化や経営環境の悪化によって、農地の耕作放棄地が年々増えてきています。農業委員会では、耕作放棄地の解消と農地の有効利用を促進することを目的に、雑木が生茂った農地を重機等により整地し、青パイヤを作付して栽培しており、今年も鴻野山地区内において実施しました。

昨年度は、洪水被害のため、残念ながら販売中止となつてしまいましたが、青パイヤの実際の収穫時期には、市の文化祭等で販売を予定しており、販売促進のためのPRに努めています。

農業委員会で耕作放棄地を解消



青パイヤ作付作業

## 平成27年 農地の賃借料情報

平成27年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、次のとおりとなっております。

### 1 田（水稲）の部

（平成28年4月1日公表）

締結（公告）された地域名		平均額 （円）	最高額 （円）	最低額 （円）	データ数 （件）
水海道地区	基盤整備地域	16,200	21,000	5,000	505
	未整備地域	15,300	21,000	5,000	234
石下地区	基盤整備地域	13,500	21,000	5,000	215
	未整備地域	13,300	21,000	4,900	99
（参考）常総市平均		14,600			1,053

### 2 畑（普通畑）の部

締結（公告）された地域名	平均額 （円）	最高額 （円）	最低額 （円）	データ数 （件）
水海道地区全域	7,900	12,000	3,000	115
石下地区全域	9,100	10,500	5,000	19
（参考）常総市平均	8,500			134

- \* 1 この情報は、農地法第52条の規定により、賃借料の目安として提供するものです。
- \* 2 この情報は、平成27年中に実際に締結された賃貸借契約の賃借料データを集計したものです。
- \* 3 基盤整備地域とは、土地改良などによりほ場整備が完了している地域です。
- \* 4 データ数は、集計に用いた筆数です。
- \* 5 賃借料を物納支給（水稲）としている場合は、60kg当たり10,500円に換算しています。
- \* 6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- \* 7 「（参考）常総市平均」の平均額は、各区分の平均値（四捨五入前）をデータ数により加重平均した値です。

# 農業委員会法が改正されました

平成27年9月4日改正農業委員会法が公布され、これにより農業委員会法は、次のとおり改正が行われ、平成28年4月1日から施行されました。

なお、現在の農業委員の任期は、法改正の経過措置により、平成29年7月30日までの任期満了日まで在任し、改選時に新制度へ移行することになります。

今後、新制度への移行に向けて、委員定数や具体的な選任方法について、法律や政省令に基づき、関係機関と協議しながら方向性を決定していきます。

主な改正内容は、次のとおりです。

一、農業委員会の役割が「農地等の利用の最適化の推進」として強化されます。

農地法等により、その権限に属された事項だけではなく、農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約

化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進が必須業務となります。

二、「農業委員の選出方法が変わります。」

農業委員の選出方法は、これまでの公選法に基づくものから、市長が議会の同意を得て任命する方法に変わります。

三、「農地利用最適化推進委員」が設置されます。

農業委員会は、農地等の利用の最適化の推進に熱意と見識を有する者の内から委嘱します。

## 農業者年金に加入しましょう

年金加入で、農業経営と安心で豊かな老後生活をがりサポートしましょう

この制度は、農業者の老後の生活の安定と福祉の向上に加え、保険料助成を通じて担い手を確保するという目的を合わせ持つ少子・高齢化に対応した積立方式の安定した制度で、80歳まで保証付きの終身保険です。

また、農地等の権利名義を持つていない配偶者はもちろん、後継者やその配偶者も加入することができ、次の3つの要件を満たしていれば加入することが出来ます。

### 加入要件

- ① 60歳未満
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事する者

詳しくはお近くの農業委員又は、農業委員会事務局までお問い合わせください。



内守谷地区  
染谷 三三男さん

染谷さんが野菜を作り始めたのは、今から約45年前からで、春取りや秋冬取りのほう

れん草、枝豆、人参、茄子等を栽培していました。

現在は、主にネギとほうれん草を栽培し、少しずつ体力の衰えからネギの出荷量は減りましたが、十年前より品質が良いと認められ、高値で買っていただけになるようになってきました。

営農当初は、作物の生産高が不安定で、思ったように収益が上がらず、試行錯誤しながら高値で販売できるように高品質な作物の栽培を目指して、日々努力してきたそうです。

その結果、青果市場の方にも高品質と認めて頂き、高値で買っていただけになるように、より高品質の野菜の生産を目指すことが染谷さんの生き甲斐で、これより先何年働くことができるかわからないが、できるだけ長く作っていただくことが目標とのこと。

染谷さんは、昨年度よりJA常総ひかりねぎ部会の部長を務めており、今後も品質の向上を目標として努力していくと意欲的に話されています。

した。

## 紹介委員



治 重員  
小 磯 委

内守谷地区で、就農50年あまりになる染谷さんを訪問しました。

## 編集後記

農委だより21号をお届けいたします。

今回の表紙は、昨年9月の関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊し、深刻な浸水被害を受けた農地が整備され、無事に田植えが行われた写真です。

## 営農と暮らしに役立つ

### 全国農業新聞

発行日 毎週金曜日  
購読料 一ヶ月七百元  
申し込みはお近くの農業委員または農業委員会へ